



市試算・耐震補強のみ53.4億円・新庁舎建設で79.2億円!!

特別委員会で説明された他自治体の新庁舎建設事例

自治体名	総額	1㎡あたりの金額	建設方法等
千代田区役所	約222億円	約37万円	PFI方式による約17年間の事業・国の機関も併設
太田区役所	約203億円	約30万円	民間ビル等を購入して用途変更・大規模改修を実施
目黒区役所	約226億円	約20万円	民間ビル等を購入して用途変更・耐震改修工事を実施
右京区役所	約111億円	約32万円	京都府・再開発事業として実施・分譲マンションも併設

PFIとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

■ 市と議会の検討状況

川口市が本庁舎の耐震問題のため、耐震補強または新庁舎の建設を検討していることが、この数年の市議会等で明らかになっています。市の試算では免震工法で現在の庁舎を耐震補強した場合は約53.4億円、現在と同じ面積の庁舎を新築した場合は約79.2億円となっています(耐震改修促進法による費用を中心に試算)。

この問題は現在、市職員による『本庁舎耐震等検討委員会』、市議会による『公有財産活用・災害対策特別委員会』で検討されており、公有財産活用・災害対策特別委員会では、以下のような議題を取り扱ってきています。

- 本庁舎の耐震診断結果の報告
- 耐震補強工事等の比較および費用
- 本庁舎のランニングコスト
(運用・管理のための継続的な費用)

- 他自治体における新庁舎建設事例(上表に掲載)

公有財産活用・災害対策特別委員会は、①庁舎問題(市庁舎等の整備、充実)、②公有財産の活用(公有財産の活用に関する総合的な対策)、③災害対策(公共施設の耐震化・地域防災計画)を昨年から審議・検討しています。

■ 本庁舎の現状

市役所の本庁舎は本館が昭和34年、新館が昭和39年に建設されたもので、平成18年度に実施された第三次耐震診断結果によると、『全体的に耐震性が低く、相應の耐震補強が必要とされる』と診断されています(平成19年6月議会の議事録より抜粋)。

診断結果によると、コンクリートの強度不足、鉄筋のさびが発生するコンクリートの中酸化、建物全体の沈下があり、建物が倒壊せずに耐えられる目標値(耐震性能指標のIso値)に満たない状況が判明しています(平成19年9月議会の議事録より抜粋)。

■ 耐震補強するの?新庁舎建設するの?

川口市は当初、『耐震補強という形の方が現実的』としていましたが、耐震補強または新庁舎建設の二つの方法の選択にあたり、『費用対効果であるとか、施工方法の実現性、規模、財源、時期等を検討していくプロジェクトチームを設けるとともに、議員の皆様からの御意見をいただきながら、最善の方法をとって参りたい』と答弁

しています(平成19年6月議会の議事録より抜粋)。

一方で市議会の本会議等では、耐震補強や新庁舎建設に関して、以下のように様々な意見が出されています。

- 来庁者である市民等と職員の安全確保の重要性
- SKIPシティB街区へ国・県の施設などとの合同庁舎化
- バリアフリー化等の既存庁舎の問題への対応要望
- 震災時などの本庁舎の機能確保の重要性
- 新庁舎の建設地としての市民会館の活用
- 質素・機能的・耐震性のすぐれた等があれば、新庁舎建設も市民のコンセンサス(合意)が得られるとの意見
- 新庁舎建設による他の事業への影響についての懸念

■ 岡村市長の考えは??

岡村市長は議会等でこの問題について意見を表明していませんが、『築30年を経過する施設が年々増加をしております。こうした老朽化する施設の適切な運用を図るには、維持管理コストの最適化や長期保全計画の策定などに取り組む必要がある』と議会で答弁し、その取組を進めているようです(平成18年3月議会の議事録より抜粋)。

■ 来年5月の川口市長選挙での争点

大きな争点がないと言われている、来年5月の川口市長選挙ですが、各候補者が新庁舎建設も検討されている本庁舎の耐震問題に関して、マニフェスト(公約)に何を記載するのか、注目していくことが必要です。

■ 編集後記

当紙面の関連資料は、以下のブログ(2008年11月8日付)で公開しております(『ふじたみつぐ』で検索)。

<http://m-fujita.cocolog-nifty.com/>

※本人とボランティアによる手配りでお届けしています。

ふじた みつぐ ■ 経歴等 ■

昭和45年6月生まれ・38歳/川口市飯塚在住、飯仲小学校/西中学校/県立蔵高校/埼玉大学教育学部を卒業。事務機器メーカー元社員。川口市の政務調査費に関する問題等への取り組みを通じて急遽、平成19年4月の川口市議会選挙へ立候補。政党・各種団体からの支援を受けず、候補者名を連呼しない選挙カーを自ら運転。選挙活動期間の1週間のみで715票を獲得。残念ながら落選。その後選挙の公費負担の問題に取り組む。

■ 発行・連絡先 ■

フルマークス/〒332-0023 川口市飯塚1-4-32-A202
電話(ファクス共用) 048-437-0924